

2017年‘7/12

やまなし平和行進ニュース「あるこう」 No.1

山梨県内コース、行進が始まりました

7/12（初日）まとめ（北杜市、韮崎市コース）

- 行進参加者90人 ●北杜市・歓迎職員15人 韮崎市・歓迎職員34人 計139人
- 沿道募金 7000円 ● ヒバクシャ国際署名 31筆（沿道21、北杜市10）

引き継ぎ集会・総勢70人余

12日正午、長野県からの引き継ぎ集会は、長野県富士見町の鳶木宿で総勢70人余の参加者でおこなわれました。「原爆を許すまじ」の全員合唱で開会、手塚正彦山梨県実行委員会代表の歓迎あいさつに続き、長野県原水協の丸山事務局長、五味みほ子長野県通し行進者が国連での核兵器禁止条約採択にふれ、平和行進の意義、ヒバクシャ国際署名の大切さを報告しました。

平和行進国際青年タスキリレーで、長野県教組米倉青年部長、山梨県労の三森さんが交換のあいさつ。県内行進者を代表して、新婦人北杜支部こぶし班の盆出さん、行進者に冷たいアイスキャンディを提供するユーコープを代表して労組の加藤さんがスピーチ。行進横断幕、団体旗を引き継ぎ、記念写真を撮り、「青い空は」全員合唱でエール交換をしました。

北杜市渡辺市長、議会議長が歓迎あいさつ、韮崎市副市長があいさつ、

国連での核兵器禁止条約採択の意義にふれて、行進団を激励しました。

関心の高まり実感

韮崎市では、行進後の15分間に、地域の戸別訪問、駅前の通行人への署名を訴え、17筆を集めました。国連で決議された事が関心を高めている事が実感されました。

旧須玉町前助役 募金で、行進を激励

北杜市須玉町では、旧須玉町時代の前助役ご夫婦が自宅前の道路際で行進を出迎え、志村北杜市議に3000円の募金を手渡しました。

暑さ吹き飛ばす「ピースコール」

行進団は、暑い日差しにもめげず、新しい、「ピースコール」をしながら、核兵器のない世界をとアピールしました。

核兵器なくそう、核兵器いらぬ、政府は条約賛成を、被爆国政府の責任はたせ、政府は被爆者の声を聞け、政府は国民の声を聞け、と国連での禁止条約採択を受けたコールを声高くおこないました。

「ピースコール」や「行進スポット」は行進参加者全員に配られました。